

# カナリヤ通信



第24号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

仕事にかける思い

今回は11月15日付です。2周年特別記念号です。

## 時間が限られ、やりたかったことに気付いた

千葉工業大学惑星探査研究センター 主席研究員 博士(理学)

荒井 朋子さん



★仕事について

私は、東京大学理学系研究科博士課程を修了後、宇宙開発事業団(現・宇宙航空研究開発機構(JAXA))に就職しました。私の専門は隕石で特に月の岩石です。最初は、希望が叶わず国際宇宙ステーションのプロジェクトに配属され、生命科学実験棟の開発プロジェクトに携わりました。実験棟や実験装置の開発なので、研究というよりはエンジニアとしての仕事が多かったです。

2003年に念願叶って月探査プロジェクトチームに異動できましたが、妊娠がわかり04年3月に出産しました。当時は、打ち上げ前の機能確認試験が非常に忙しい時期で育児休暇を取ることも出来ませんでした。出産後すぐに復職しましたが、保育園にも入園できなかったことから、夫と有給を交互に取り合っていたのがきっかけでした。

就職して、仕事をしている間に「自分の本音がやりたかったこと何かな」と考えたことはありませんか。人生は一度きりだから好きなことに打ち込みたいと思う人もいます。しかし、さまざまな現実な事情で思いどおりにいかないのが現実



です。今回は、宇宙開発事業団でエンジニアとして働き始める育児を機に「本当にやりたかったこと」に気づき、「一念発起」し研究の道に舵を切った千葉工業大学惑星探査研究センターの荒井朋子さんに、仕事にかける思いを聞きました。



南極点で

私が幼いころ、父は火星、母は金星から来て地球で出会ったと聞かされ、真面目に信じていました。地球以外の惑星はどんなイメージなのだろうとわくわくしながら、父に質問しても「たまたま望遠鏡で月や星を眺めていました。そういつたことがきっかけとなって今の仕事に進みました。」

理工系に進むというとは、自分の持っている根本的な疑問を解決することにつながるのだと思います。新しい知識にチャレンジし、疑問を解決しては、「面白い」と思っています。新しい知識が理工系の学問であり仕事ですから、学生さんにも未来のフロンティアとして頑張ってもらいたいと思います。

★理工系の学問と仕事

## 新しい知識にチャレンジ 解明することは「面白さ」



南極で隕石を採取している

私の現在の仕事は、地球外天体物質(隕石等)の研究です。現在、アメリカ

限られてきたことで、自分が本当にやりたかったこと何かを考えはじめ、「私は研究をしたかった」ということに気づきました。同年9月末にJAXAを退職し、研究者としての就職活動をしながら初心に戻って研究を再開しました。連日12月に国立極地研究所にホスト(任期付き研究員)として採用され、育児をしながら研究に専念しました。

09年に千葉工業大学において惑星探査研究センターの設立に伴い着任して以来、現職に従事しています。子どもが小学校3年生の時、12年11月から13年1月まで米南極探査隊に参加し、学生の時からの念願であった南極へ行きました。正月を挟んだ2カ月間の探査でしたが、その間は夫と義母の助けがあった研究に没頭することができました。



余談ですが「月」について...

私たちが夜、高い空に輝く月は白く輝いて見えると思いませんか。それは、斜長石(岩)です。実際に白く美しい石です。そして、ウサギの模様に見える部分は玄武岩で、富士山で見られるような溶岩が固まった黒い石です。さらに、月の深部は地球の深部と同じように、橄欖(かんらん)石という鉱物から成っていると考えられています。ちなみに8月の誕生石のペリドット(緑色)です。現在、考えられている月の成り立ちは、出来立ての地球に火星サイズの天体が衝突し、衝突した天体と剥ぎ取られた地球の一部が地球の周りを回り、それがいったん溶融し「マゼマ」海と呼ばれるまで、そこから少しずつ冷え固まっていく過程で、軽い斜長石が浮き上がり月の表面を形成したと考えられています。

## ハイドロ銀チタン®を加工した驚きの機能タオル

タオル美術館グループ

ハイドロ銀チタン®



秋になったとはいえ、まだ暑い日もあって、少し動いただけでも汗をかいてしまいます。そして、秋は雨の季節でもあります。部屋干ししていると、なんとなく洗濯物におうし、汗をかくと身体から不快なお臭も出てしまったり、嫌な思いをした人も多いでしょう。そこで、今回紹介するのはタオル美術館グループが開発した一見普通に見えるタオル。しかし、においや汗などの不衛生タンパク質や花粉やハウスダスト、カビなどのタンパク質を水に変えてしまう驚きの機能タオルなのです。実は、医師の新しい発想で生まれたハイドロチタンテクノロジーを採用、ハイドロ銀チタン®がタンパク質を吸着・分解して水にしてしまう優れたものなのです。長雨続きで室内干しした洗濯物がなんとなくにおう、花粉の季節になるとタオルに付いた花粉でく

しゃみと鼻水がとまらない、なんて経験も多いでしょう。また、キッチンでも「フキンが黒ずんで衛生面に気になる」というお悩みもあると思います。でも、このハイドロ銀チタン®のタオルを使うと安全・安心、効果実験でも実証済みです。タオルシリーズのラインナップはバスタ

ル5種類、寝具5種類、キッチン用4種類など幅広く展開しています。特にお勧めのピローケースは、寝ている間に付着するやっかいなおじさん臭も、さようならしてくれます。オールシーズン、気持ち良い環境づくりに使ってみてはいかがでしょうか。価格は、フェイスタオルについては、+2は1,600円、+4は2,000円(ともに税別)。+2は不衛生タンパク質に効果。+4は不衛生タンパク質とタンパク質の分解に効果があります。お問い合わせは、タオル美術館グループ 一広・電話03-5791-5102。

◇「ハイドロ銀チタン®タオルシリーズのフェイスタオル+4」を抽選で4名にプレゼント!

住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部にご応募ください。締め切りは10月23日(月)です。



スマホ、携帯電話から応募できます!

## 仕事・家庭の両立、合格点は自分で決める

日産自動車株式会社 A&O 人事グループ 山口 文さん



人事部でアジアオセアニア地域のビジネスサポートをしています。会社人生の8割は子育てとともにあります。仕事では時間に制限があるので、無駄を省き、事前に相手と優先順位や合格点に合意するのが重要です。もともとテレワークを使いながら柔軟に働いていましたが、最近時短勤務に切り替えてからはアシスタントが付き、以前と同じ業務を担当しています。いま、一番仕事と家庭の両立バランスが取れていると感じていますし、このような環境を提供してくれる会社に感謝して

います。周囲への気遣い、キャリアへの焦りもあり、自分を仕事に縛り付けていた時もありました。でも両立は自分が意識しないと誰にもできませんし、何も始まりません。徐々にテレワークで職場から離れ、業務をコントロールしながら、働きやすいスタイルで成果を出せるようになりました。両立の合格点は自分で決められます。人と同じことができないと不安になりますが、同じプロセスに従う必要はないと思います。自分にしかできないやり方で、会社に貢献することもできると伝えたいです。

## 募集

カナリヤ通信では、創刊から2周年を記念して11月15日に特別記念号を発行します。そこで読者の皆さまから、「〇〇〇〇の取り組み方!私のピカイチ施策」を募集します! ①育休中②育児・家庭(仕事との両立) ③スキルアップ④キャリア形成⑤ワー

クライフバランス⑥病中・病後⑦介護の7項目から1つ選んでいただき、独自の取り組み方を紹介して下さい。男性・女性を問いません。所定の用紙に記入の上、10月30日までにメールでお送り下さい。(例) ①「育児休暇中に会社の状況を定期

的に知らせてもらって、浦島太郎にならないようにした。また、必要に応じて同僚とやりとりした」など。 ※カナリヤ通信のウェブサイトから記入用紙をダウンロードできます(紙面右下のQRコードからアクセス)

連絡先はこちら

お問い合わせ 株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部 TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730



ご意見・ご感想、プレゼントの応募は canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。 「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。

webで公開中